

平成30年第4回定例会

**一 般 質 問**

古殿町議会

# 平成30年第4回定例会一般質問通告書順

日付	順 番	議 員 名	党 名
12 月 19 日	1	野 崎 喜 彦	無 所 属
	2	佐 川 勇 司	無 所 属
	3	緑 川 栄 一	無 所 属
	4	佐 藤 弘 信	無 所 属
	5	木 戸 久 康	無 所 属
	6	藁 谷 直 吉	無 所 属
	7	岡 部 淳 一	日 本 共 産 党

番号	質問者	質問事項	要 旨
1	1 番 野崎 喜彦	1. 特産物の生産と農産物のブランド化について  (町 長)	(1) 6次化産品である大豆の生産量と「大豆ミート」の販売実績は。(平成28年から30年) (2) 農産物国際規格の第三者認定「グローバルGAP」取得の考えはあるか。 (3) 農業従事者の所得向上に向けた戦略的な取り組みは。
		2. 森林伐採に伴う安全対策について  (町 長)	(1) 今年、町内で伐採された森林(特に杉材)の総面積、数量は。 (2) 森林伐採後の土砂崩れなどの事案は把握しているか。 (3) 伐採後に残された残材の流出対策・材木搬出道布設に伴う崖崩れ防止の対策並びに指導は行われているのか。 (4) 大型材木運搬車両の通行に伴い、生活道路の往来に支障をきたしているとの苦情があるが、把握しているか。また、解消のための対策は。
		3. 平成30年度の行政評価と31年度の主要事業について  (町 長)	(1) 当町では行政評価(PDCA)や事務事業評価の体制づくりは構築されているのか。作られているとすれば、どのような事業を評価の対象としてきたのか。 (2) 今年度の主要事業である「大豆栽培促進事業」と「定住促進対策事業」の成果をどう捉えているのか。その継続の可否は。 (3) 次年度の重点事業、主な施策は何か。新しい取り組みはあるのか。
2	1 1 番 佐川 勇司	1. 4期目の町政運営と今後について  (町 長)	(1) 4期16年の町政運営を踏まえ、今後の課題は何か。 (2) 4期目で、任期中に実現できなかった政策についてどう考えるか。 (3) 5期目の町長選出馬の考えは。
3	3 番 緑川 栄一	1. 古殿町産業振興策は  (町 長)	(1) 古殿町の産業振興計画は。 (2) 6次化産品の開発計画は。 (3) 古殿町の観光資源創生計画は。 (4) ふるさと納税の寄付状況。 (5) 道の駅の来客者及び売上は。

番号	質問者	質問事項	要 旨
4	5 番 佐藤 弘信	1. 平成31年度の予算編成について  (町 長)	(1) 新年度の予算編成に対する基本方針は何か。 (2) 財源の確保には、どのような見通しをもっているか。 (3) 既存の事業に対しての評価はどのように行われているか。 (4) 町民の要望をくみ上げどのように予算に反映しているのか。 (5) 第6次振興計画をどのように反映するのか。 (6) 新年度の重点施策は何か。
		2. 住宅用火災警報器の設置について  (町 長)	(1) 町内の火災警報器の設置率はどのようになっているか。 (2) 高齢者一人暮らしの世帯に助成はできないか。 (3) 今後町として、設置に向けての対策はどのようなものになるか。
5	9 番 木戸 久康	1. 過去の事業成果と平成31年度事業内容について  (町長・教育長)	(1) 旧大久田小の仮校舎はどうする考えか。 (2) 旧論田小校舎と敷地は現在どのような状況か。 (3) 流鏝馬用厩舎の利用を今後どう進めるのか。 (4) 旧大原小跡地の木材乾燥施設の現在の稼働状況は。 (5) 平成31年度は何を一番重要と考えて予算を編成するのか。 (6) 社会福祉協議会施設の進捗状況は。(コスモス荘) (7) 老人居住施設の進捗状況は。(高齢者居住施設) (8) 旧保育所跡地の活用はどう考えているのか。
6	2 番 藁谷 直吉	1. 町の活性化対策について  (町長・教育長)	(1) 町図書館の土日開館した実績と今後はどんな方針でいくのか。 (2) 町公民館の正面出入り口に、古殿町公民館と古殿町図書館の名前を表示していないが。 (3) 古殿中学校の図書を、町の図書館で貸出する考えは。 (4) 町の図書館に、パソコンによるバーコードシステムを導入し、図書の貸出しや管理をする考えは。 (5) 図書カードを、キャッシュカードのように小さくする考えは。 (6) 図書館で、新聞、雑誌や週刊誌などを閲覧する考えは。

番号	質問者	質問事項	要 旨
		2. 町の資源を観光化について  (町 長)	(1) 山上地区の溪流と煙り出しの古民家を観光化する考えは。 (2) 老朽した町の道路案内表示板を撤去し、新たな案内表示板を設置する考えは。
7	8 番 岡部 淳一	1. 町振興計画最終年度までの評価と今後のまちづくり  (町 長)	(1) この10年間の町の状況変化をどう捉えているのか。 (2) 振興計画当初の見通しと大きく違った事は何か。 (3) 今後のまちづくりは何を目指すべきと考えているのか。 (4) 10年スパンの振興計画ではなく、より短い年度計画と評価に変えるつもりは。 (5) 町独自策にも限度がある。広域化も大きく取り上げられ始めたが、石川郡内としては、何を広域的に取り組めばと思っているのか。 (6) これまで働く場はあるが勤める人がいないとの話があった。その状況にはどう取り組むべきと考えているのか。
		2. 農業意欲をこれ以上減退させないための施策とは  (町 長)	(1) 専業・兼業の後継者問題及び農機具更新の実態調査は行っているのか。 (2) 認定農業者を含む専業農家に対して行っている支援策は何か。 (3) 兼業農家への支援策は何が行われているのか。 (4) 町農業及び農家形態における課題と取り組みについての考えは。
		3. 議会での質問や寄せられた町民の声への検討結果は  (町長・教育長)	(1) 検討するということは、実際のところどのような扱いになるのか。 (2) 検討した結果については、これまでどう対応・報告してきたのか。 (3) 検討した結果、給食費の無料化はどう対応すべきと考えているのか。 (4) 検討した結果、特別教室・体育館へのエアコン設置はどうなるのか。 (5) 検討した結果、就学援助のより充実した内容と入学前支給はどうなったのか。 (6) 検討した結果、高校生への通学費支援はどうなったのか。